



令和7年1月14日(火)発行
校長 栗原 友恵

北九州市小倉北区昭和町16番1号

HP: www.kita9.ed.jp/nakashima-e/

TEL: (093) 921-1690

<学校教育目標>

体・徳・知 調和のとれた心身ともに健康な子どもの育成

<目指す子ども像>

- 相手の立場に立って考える思いやりのある子ども
- すすんで学び、自ら考え、表現する子ども
- 元気に学び、すすんで運動に取り組む子ども

<目指す学校像>

- 安全な学校 ○温かい学校
- 笑顔があふれる学校
- 「中島小大好き」と言える学校
- 成長(学習)し続ける学校
- 保護者・地域・関係機関と連携する学校

あけましておめでとうございます！2025

元日の朝は新しい年の始まりです。みなさんは、どんな元日の朝を迎えましたか？「一年の計は元旦にあり」「一年の初めの日だ。今年は、△△を頑張ろう!!」「○○を続けよう」などと、一年の計画や目標を立てたことでしょうか。元旦は、12月31日(大晦日)から一日たっただけなのに、気持ちが改まって「新しい年だから嬉しい。いい年にしたい」と思いますね。(ちなみに、『元日』は1月1日の丸一日を表し、『元旦』は1月1日の午前中のみを表します。)

1月8日(水)、中島小学校の令和7年がスタートしました。こうして皆さんと一緒に新しい年を迎えられたことに感謝の気持ちでいっぱいです。とても嬉しく、幸せに感じています。中島小学校のみんなが元気に冬休みを終え学校に登校する、そんな当たり前の日々を迎えられることがどれだけ幸せか・・・ぜひ一日一日を大切に過ごしてほしいものです。

今年度も残すところ3か月。1年間のまとめと次の学年に向けた心の準備をする大切な3か月です。特に6年生にとっては、中島小学校で過ごす最後の3か月です。中学校という新しいステージに向かって、一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。自分で立てたあてや計画の達成を目指して努力を重ね、次の学年に向けて大きく成長する3か月となることを祈っています。

新しいことに挑戦しよう！

2025年(令和7年)の十二支は「へび」で、巳年(みどし)と言います。へびは、皮を脱ぎ捨て新たな姿に生まれ変わることから、古代から再生や永遠の象徴とされています。こうした意味から、巳年は新しい挑戦や変化に対して前向きな姿勢を示す年とも言われています。

中島小学校の子どもたちにとって、令和7年、2025年が、いろいろなことに前向きに取り組む、どんどん成長する年になることを願っています。

どんど焼きがありました！

1月13日(月)、今年の無事安穩(ぶじあんのおん)と無病息災(むびょうそくさい)を願い、中島小学校運動場で中島校区の「どんど焼き」が行われました。厳粛な神事後、火入れ式が行われ、高く炎が上がりました。どんど焼きのような日本の伝統や昔の生活などに触れられる数少ない機会が「お正月」です。子どもたちにも自分たちの国の文化を知ってほしいと思います。以下、お子さんと一緒に読んでみてください。

お正月の行事や慣習にはこんな意味があった！

【大掃除】お正月を迎える準備として大掃除をする風習は平安時代からありました。江戸時代にはいり、江戸城大奥で行われていた「煤(すす)払い日」の慣習が民間に広まったことにより、「煤払い」すなわち「年末の大掃除」が一般的に行われるようになったと考えられています。

【門松・しめ飾り・鏡餅・お年玉】●**門松** 松は神様にとても縁が深い木とされており、年神さま(お正月の神様のこと)をお迎えする目印として家の門に左右一対(雌松と雄松)を飾るのが慣わしです。もともとは、松だけを飾る「松飾り」でしたが、室町時代に入り生命力や長寿の象徴ともされる竹が取り入れられるようになり、現在のような「門松」になったといわれています。●**しめ飾り** 門松と同じく年神さまを迎えるために玄関付近に飾ります。●**鏡餅** 年神さまの家の中での居場所が「鏡餅」です。丸い餅を神様が宿るとされていた丸い鏡に見立て、「鏡餅」とよぶようになりました。●**お年玉** 年神さまの御魂が宿った鏡餅の餅玉を家長が「御年玉」「御年魂」として家族に分け与え、それをいただくことにより新しい年の幸せや健康を願うのが「お年玉」のルーツといわれています。

【年越しそば】そばは細く長いことから「長寿」や「健康」「家運長命」などへの願いが込められています。さらに、そばはうどんなどよりも切れやすいので「一年の不運や災いを断ち切る」という意味もあります。

【お屠蘇(おとそ)】お屠蘇は、お酒に漢方薬などを浸した薬膳酒です。古代中国で大晦日に漢方薬などをお酒に浸しておき、それを不老不死の薬酒として元日の朝に年少者から年長者へ順にまわして飲んでいくという風習から始まったとされています。一年の邪気や悪気を「屠(ほ)り(ほふり)」、命を「蘇(よ)らせる(よみがえらせる)」ということから「お屠蘇」と呼ばれています。

【おせち料理】もともとは季節の節目を祝う日(節句など)に神様にお供える「御節供料理(おせちくりょうり)」を指します。年間を通して何度もある節句ですが、そのなかでも特に大切な日がお正月ということで、お正月の御節供料理だけが「御節料理」として残りました。

【初詣】新年を迎えて初めて神社やお寺などに参詣することで、その年の健康や幸せを祈願します。

【七草粥・鏡開き・どんど焼き】●**七草粥** 昔の中国では、「人日の節句」という五節句のひとつにあたる1月7日に、七種類の若菜を入れた汁物を食べて無病息災や立身出世などを願う風習があり、これが奈良時代の頃日本に伝わったのが「七草粥」とされています。●**鏡開き** 新年にお招きした年神さまの居場所だった鏡餅を割って食べるのが「鏡開き」です。開いた鏡餅をお汁粉などに入れて食べることで一年の健康と幸せを願います。●**どんど焼き** 門松やしめ飾り、古いお守りやお札をお焚き上げる火祭りが「どんど焼き(左義長)」です。その炎で年神さまをお見送りする意味があるようです。また、書初めて書いた書物なども一緒に燃やされることがありますが、高く燃え上がると習字が上達するといわれています。

*** 保護者の皆様へ ***

今年度も残り3か月となりました。インフルエンザ等感染症の予防に努めながら、子どもたち一人一人が自分のよさや成長を実感し、自信をつけて進級・進学できるよう、教職員一同、全力で教育活動に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いたします。